



いわての魅力を詰め込む合宿「おとなキャンプ」(区界高原)にて記念撮影

### 特集 **新しい可能性**

「インターネットとラジオを使った  
新しい地域防災」 02-03

### 団体活動紹介 04-05

地域のお宝を活かした町づくり  
わが町、一関を  
自閉症サポート先進の町へ

### Information 06-07

県からのお知らせ  
イベント・助成金情報  
岩手県社会福祉協議会からのお知らせ

### NPO活動交流センター からのお知らせ 08

#### 【表紙の団体のご紹介】

#### いわて未来ミートアップ

多彩な岩手好きが集まり楽しく交流することで、新しいプロジェクトにつながればとスタートした団体。おとなキャンプでは、3.11後の被災県岩手の「素晴らしい未来」について語り合いました。地元食材・郷土料理のまめぶ汁も堪能し、キャンプファイヤーや映画上映を楽しみました。

# 特集 新しい可能性

「インターネットとラジオを使った新しい地域防災」

## NPO法人 防災・市民メディア推進協議会

平成24年8月にNPO法人設立。平時の地域コミュニティの活性化や災害時の情報伝達の確保に寄与するとともに、地域そのものの活性化に向けた貢献活動に取り組んでいます。



事業部門長の福山さんにお話を聞きました。

### 伝わらなかった情報

東日本大震災が起きた時、私は長野県に住んでいました。しばらくはテレビを見て呆然としていたのですが、このまま見ているだけではなく、自分ができることをやろうと思い大船渡に来ました。そのときの活動は避難所間の中継を行おうと各避難所を回っていました。しかし、その活動の最中に震度6の余震が発生し、情報源がラジオのみになってしまい、その時感じたことが、「防災無線が聞こえない」「各地区の中での情報共有が出来ていない」「県域全体の情報は入るが、市内の細かい情報が全くわからない」という事でした。例えば、大雨で洪水が起きた時に、「どこが通行止めになっているか」「避難所がどこで開設されているか」といった情報が大船渡市民には必要だと感じました。

そういった中で、「防災行政無線だけでは防災情報の伝達に限界があるのではないかと考え、それを変えていくために、被災地である大船渡市で自分たちが経験したことを活かして、防災情報はいかに正確かつ迅速に伝える仕組み作りを行うためにNPO

法人を設立しました。

### 平時と災害時の使い分け

新しく防災情報発信の仕組みを作っても災害時のみの使用となれば、維持・管理費の負担が増えてしまいます。そこで平時から使用できる情報発信の仕組みを提案し、得られた収益で運用できるよう活動しています。私たちが提案した事業は、「FMネマライン事業」「地域のきずな事業」「市域内無線事業」です。具体的には「FMネマライン事業」は平时にコミュニティFMラジオで市内のイベント情報や天気・交通情報を提供し、災害時には市内の状況を継続的にお知らせする緊急防災番組を放送します。「地域のきずな事業」は警報や避難情報また所在・安否確認情報などを一元管理することで、探したい情報検索を容易にすることができます。「市域内無線事業」は市内の主要箇所に無線LANアクセスポイントを設置することで、平時にはネットワークを使い地域の防犯や高齢者見守りなどに使用し、災害時には携帯電話やインターネットが使えなくても通信可能なネットワークとして利用できるものです。



新しい防災について議論しました



私たちが情報を発信します

### 目的を明確にする

「どうやって協力者を集めたの?」と聞かれることがあります。私が大事だと感じる事は達成したい目的とそれに対する共感が重要だと考えます。

あの時、防災無線が聞こえなかった。南海トラフのような震災が起きたら同じ事が起きてしまうのではないかとそれを防ぐには今の防災情報伝達を変えなければならない。ならば、私たちが経験した被災地のモデルを作り、それを東北だけではなく日本へ、さらに日本だけではなく世界に伝えていく。この大船渡から防災というテーマで地域情報化を整備してい

き、この活動や仕組みが社会全般で役に立つことだと設立のころから私たちは、訴えかけてきました。

その結果、地元の企業などから徐々に共感を得られるようになりました。先に述べましたが、私は「テーマや事業目的を明確にする」が一番のポイントだと考えており、それがたくさんの方達からの共感・協力を得られるという結果につながります。自分の目的を明確にし、行動していけば協力してくれる方は絶対にいます。

### さらなる活動を広げる

防災・市民メディアは、種をまいたばかりで、これから芽を出していこうとしているものです。また自分達の活動は大船渡だけではなく、他の地域にも役に立つモデルになると信じて取り組んでいます。そしてこのモデルを、他の地域に展開していくというも自分たちのミッションだと考えており、関心がある方には共に活動していきたいと考えています。他の方と交流することにより、よりよい防災モデルを築いていきます。

#### NPO法人 防災・市民メディア推進協議会

住所：〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字鷹頭9-1 東海新報社2F  
URL：http://bousai-shimin.com/



ネットワークを中継する基地局を設置しました

## 地域のお宝を活かした町づくり

北いわて山里街道推進協議会

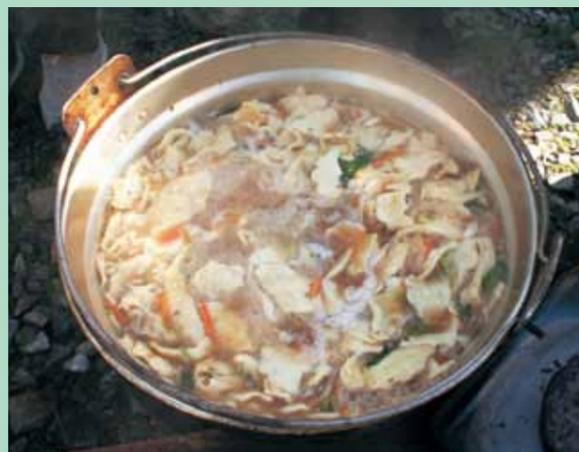
平成24年設立。地域資源の一つである街道や森の遊歩道を活用した都市交流を通じた地域活性化を目的に活動しています。会長の愛木さんにお話をお聞きました。

### 地域を見る・地域を食べる

昨年の秋に一戸町小鳥谷高屋敷地区で、『「北いわてロングトレイル」歩く会「奥州街道・小鳥谷コース」』を開催しました。ロングトレイルとは登山道や古道などを歩きながら、地域の自然や文化また歴史を体験し、地域の人と触れあうことです。奥州街道とは、江戸時代の五街道の一つであり、小鳥谷コースには、小鳥谷の風景や五月館の追分石また川底一里塚など様々な名所があります。特に川底一里塚は県内では数少ない主要街道の一里塚で幕末の北奥路程記、福岡通絵図に記録されています。歩く会では、地元の食材を使ったひつまみや申もちなどの郷土料理また、自分たちで摘んだ山菜やキノコを天ぷらにして地元の味を楽しんでいます。

### それぞれの地域との交流

当初、私たちの会は奥州街道や地域の遊歩道というような地域の宝を活かして活動を行っている団体



ばあちゃんのひつまみ、うんめえぞ〜。



陸中海岸の絶景に見とれてしまいます！

が集まり発足しました。また、二戸市金田一にある「よりんせ金田一」と久慈市にある「横沼町内会」も同様に遊歩道を活かそうと活動しており、それらの人たちと縁があって知り合い「それなら内陸から三陸に向けて歩けるようなルートを築こう」というお話になって、活動が始まりました。

お互いが個々にやっていた小さな活動が、連携して行うことで活動の幅が広がりました。以前と比べ、遊歩道や村の中を歩く人が増えた事は大変嬉しく思います。

### 宝を次の世代へ

私たちの地域には宝がまだまだたくさんあります。ロングトレイルの新規ルート開拓や週末には縁側カフェというような活動も行いたいと考えています。また他の地域から来た方と交流を深めることにより、違う角度から地域を見つめなおすことも、どんどん行っていきたいです。そして昔から伝わってきた地域の宝というバトンを、次の世代に渡すことで、私たちが住む北いわてが更なる発展するよう歩み続けます。

北いわて山里街道推進協議会

住所：盛岡市内丸16-15-607  
TEL・FAX：019-626-4324（留守電対応）  
メール：yamasatokaigo@yahoo.co.jp

## わが町、一関を自閉症サポート先進の町へ

NPO法人いわて発達障害サポートセンターええ町づくり隊

平成19年設立。自閉症という障がいを持つ方々が、地域生活を営む上で必要な支援及び社会参加を促進する為の総合的援助を行うとともに、地域のなかで豊かに自立して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。

### ええ町を創ろう！

私たち、いわて発達障害サポートセンター「ええ町づくり隊」は主に自閉症という障がいを持つ方々が、地域の中で自立し安心して楽しく暮らせる町づくりをするため活動しています。その中で「ええ町探検隊」と「さくらなみき自閉症美術館」という活動を中心に行っています。「ええ町探検隊」とは当初、自閉症の子どもたちが、商店街などで買い物をするための練習として始めました。その後、少しずつ変化していき現在は、参加する子どもたちは「周りの方たちに対して自閉症の啓蒙活動」を、買い物の場となる商店街の方たちは「自閉症を理解してもらう事」を、そしてボランティアスタッフの方は「町づくりを考える」の三点を目的に活動しています。また「さくらなみき自閉症美術館」は自閉症患者の絵画を全国から集めて展示しています。現在、障がい者が描く作品はアールブリュット(生の芸術)として注目をされており、この自由な感性と手法で創りだす作品を通じて、自閉症への理解を深める場として取り組んでいます。

### 自閉症ってなんですか？

ところで「自閉症」という言葉がたくさん出てきま



事務局理事の小野さんにお話をお聞きました。



自由なタッチで描かれた作品です。

したが、みなさんはどのようなイメージを持っていますか？「親のしつけが悪い」「ひきこもり」「人間嫌い」「心の病気」「精神が不安定」のようなイメージが出てきましたか？実はこれらは全て誤った情報なのです。自閉症というのは、生まれつきの脳機能障がい原因なので、親のしつけなどの生活環境で発症するものではありません。また治療を受けて治るものではなく、おしゃべりな人もいれば無口な人もいて特徴は多岐にわたります。自閉症の子は優れた才能に恵まれていることも多く、周りの方々が、ほんの少しだけ気をつけてあげれば普通に生活できるのです。

### 自閉症を通じての町づくり

私たち「ええ町づくり隊」は自閉症の子どもたちが安心して暮らせる町づくりのため上記の活動を続けてきました。また「自閉症」への理解を深めてもらうため講演会や相談支援も行っております。これからもええ町をつくるため、「一関は気軽に自閉症の相談ができる町」「一関は自閉症に理解がある町」「一関は自閉症美術館がある町」という情報を全国に発信し、一関を自閉症サポート先進の町にしていきたいです。

NPO法人いわて発達障害サポートセンター  
ええ町づくり隊

URL：http://aamachi.web.fc2.com/  
E-mail：a-machi@ia4.itkeeper.ne.jp  
さくらなみき自閉症美術館 TEL：080-8204-2909

## 「NPO法人もりおか配食サービス」が認定NPO法人となりました!

盛岡市にある「NPO法人もりおか配食サービス」が、今年7月に認定NPO法人に認定されました。

### ○もりおか配食サービス【認定NPO法人】

- ・代表者: 理事長 川島 京子
- ・住所: 岩手県盛岡市みたけ二丁目22-50
- ・電話: 019-648-8810
- ・活動内容: 高齢者、障害者及びその介護者などが毎日を生き生きと豊かに過ごせるよう、栄養バランスのとれた手づくりのお弁当とふれあいを届ける配食サービスを行っています。また、このサービス

を通して、年齢や性別を問わず活動できる場を提供し、地域の福祉環境の向上に寄与することを目指しています。



手づくりのお弁当とふれあいを届けます

認定NPO法人制度は、財政基盤が脆弱なNPO法人への寄附を促すもので、岩手県の認定を受けることにより、寄附をする側も受ける側も税制上のメリットを得ることができます。認定NPO法人制度については、県庁NPO・文化国際課までお気軽にご相談ください。

### 【認定NPO法人に関する相談窓口】

岩手県政策地域部NPO・文化国際課 認定NPO法人専門員までお気軽にご相談ください。

平日 午前9時～午後4時(ただし金曜日は午後3時まで)

〒020-8570 盛岡市内丸10-1 TEL:019-629-5199 FAX:019-629-5339

E-mail:FA0042@pref.iwate.jp

## イベント情報

### NPO活動交流センターより「NPO基礎講座」開催!!

【概要】NPO法人会計基礎

【日時】平成25年9月26日(木) 13:30～15:30

【参加費】無料(どなたでも参加できます。)

【会場】アイーナ5階 ミーティング室 (盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

【お申込み・お問い合わせ先】NPO活動交流センター TEL:019-606-1760 FAX:019-606-1765

### シニアパワーいわてより「無料相談会」開催!!

【概要】年金・雇用保険等の社会保険およびNPOの会計事務・法人の設立・運営管理等について

【日時】平成25年10月26日(土)13:00～16:00

【会場】もりおか市民活動支援室 (盛岡市中ノ橋通1-1-10 プラザおでって1階)

【相談員】社会保険労務士 佐々木 正男 (NPO法人シニアパワーいわて会員)

【お申込み・お問い合わせ先】NPO法人シニアパワーいわて 担当:中村善昭 TEL:090-5237-4978



## 岩手県社会福祉協議会 ボランティア・活動センターからのお知らせ



岩手県社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターでは、認知症と障がいについて、理解を深め、認知症高齢者や障がいのある方の見守り等、支援の担い手を増やし、互いに支え合える地域づくりにつなげることを目的に、「認知症と障がいの理解を深める研修会」を開催します。

《プログラム》プログラムが変更になる場合があります。

○共に暮らすために①(発達障がいとは)

【講師 発達障がい沿岸センター】

○共に暮らすために②(精神障がいとは)

【講師 岩手県こころのケアセンター】

○共に暮らすために③(認知症とは)

【講師 岩手県高齢者総合支援センター】

《参加対象者》

○認知症高齢者や障がい者(特に精神障がい、発達障がい)のサポートに関心のある方はどなたでも参加できます!!

○民生委員、児童委員、ボランティア(個人・団体)、NPO団体関係者、社協職員等。

《開催日程・会場》※参加費無料

10/3(木) 13:00～16:15

宮古市総合福祉センター 3階 健やかホール

11/27(水) 13:00～16:15

大船渡市総合福祉センター 1階 大会議室



「認知症と障がいの理解を深める研修会」の様子

【お問合せ先】岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

TEL:019-637-9711 FAX:019-637-7592

E-mail:vc-1@iwate-shakyo.or.jp

\*ボランティアに関する相談はこちらまでお気軽にご相談ください。

「ずっぱりボランティアいわて」

URL :http://iwate-volunteer.jp/

## 助成金情報

### 公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団 平成26年度(2014年度) 助成団体の募集

【助成内容】

永年地域文化の振興に寄与してこられた団体、とりわけ地域の音楽・美術・演劇・伝統芸能の各分野において努力されている諸団体の活動に対して助成支援を行う。

【募集期間】

平成25年8月1日～11月30日(消印有効)

【提出先・問合せ先】

公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団 事務局 〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目2番4号 日本橋ビル

電話:03(3272)6993/FAX:03(3272)6994

http://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp/

### 助成「きれいな川と暮らそう基金」募集 「公益社団法人 日本河川協会」より

【助成対象者】学校および市民団体(NPO、NGO、サークルなど)

※助成額は、最大100万円/団体とします。

【締切】平成25年11月30日(消印有効)

【提出および問い合わせ先】

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5

麹町E・C・Kビル3F

公益社団法人 日本河川協会

「きれいな川と暮らそう」基金 事務局

TEL:03-3238-9771 FAX:03-3288-2426

E-mail kikin@japanriver.or.jp

申請書類などは下記URLよりダウンロードください。

http://www.japanriver.or.jp/kireinakawa/download.htm



## NPOお悩み相談室

**Q**今までの収支計算書ではダメなんですか？

**A** NPO法の改正により、平成24年4月以降に開始する事業年度から従来の収支計算書は活動計算書に変更されました。当分の間は経過措置が認められますが、出来る限り速やかに収支計算書を活動計算書に切り替える必要があります。

**Q**活動計算書ってなんですか？

**A** 活動計算書は、一年間の収益から費用や損失を差し引き、年間に正味財産がどれだけ増減したかを、その原因面から表す計算書です。つまりNPO法人の活動の状況を表す計算書ですが、同時に正味財産の残高とその増減はお金の面か

ら、組織の維持ができるかどうかということを示すものでもあります。

**Q**活動計算書の表示の仕方を教えてください

**A** 活動計算書は、通常の活動から生じる収益、費用(経常収益、経常費用)とそれ以外のもの(経常外収益、経常外費用)に区分しますが、費用は事業費と管理費に分けたいうえで、それぞれの勘定科目を「人件費」と「その他の経費」に分けて表示します。

(活動計算書の様式は、岩手県発行の「手引き」121～124頁に掲載されています。)



# NPO活動交流センターからのお知らせ

## NPO活動交流センターのイメージキャラクターが決定しました!!!

ワワです。  
WAWA  
よろしくね♥



### 【キャラクター紹介】

NPO活動交流センターを通じて、県民の皆さんから愛されてほしいとの思いで、頭の部分をNPOのアルファベット+岩手の「岩」をモチーフにしました。また「わ」(輪=和)を身に着けており、老若男女問わずたぐさんの人達とつながりを持っていきたいです。

## 編集後記

今回の防災・市民メディア推進協議会の取材で、「目的を明確にする。」というお話を聞かせていただきました。それがきっかけに、「自分の団体の目的や使命は何だろうか?」「ただ目の前の作業処理に追われていないだろうか?」と改めて考える良い機会になりました。今後も常に目的を意識して行動し、より良い活動をしていきます。

(担当 イハタ)

## 【お問い合わせ】

〒020-0045  
 岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号  
 いわて県民情報交流センター「アイーナ」6F  
 NPO活動交流センター  
 TEL:019-606-1760 FAX:019-606-1765  
 メールアドレス:n-katsu@aiina.jp



NPO 活動交流センターの HP では様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。

<http://www.aiina.jp/npo/index.html>

アイーナ N活

Twitter フォローお願いします!!! <https://twitter.com/aiinaNPO>

Facebook いいねをお願いします!!! <https://www.facebook.com/aiinaNPO>